

無印良品

アクリル浄水ポット

取扱説明書

1. 安全上のご注意

ご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
また、いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。

注意 この表示は、人が傷害を負うまたは物的損害を負う可能性がある内容を示します。

この表示は、禁止内容を示します。

この表示は、必ず実行して頂く強制・指示内容を示します。

正しい取り付け、および正しく使用されなかった場合の製品の故障および事故に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

①

製品に細かいキズや割れ等を見つけた場合は、ご使用をおやめください。
⇒破損の可能性があり、けがをする恐れがあります。

本体容器にフタとタンクがついていないときは、本体容器上部(白い部分)を持たないでください。
⇒変形・破損する恐れがあります。
※本体容器にフタとタンクがついていないときは、本体容器透明部分の凹みをお持ちください。(下図参照)

ご使用の際は、手がすべり落とす危険がありますので、容器を両手でしっかりとお持ちください。

注意 その他の注意事項

浄水器として以外のご使用はおやめください。

硬水を軟水にしたり、軟水を硬水にすることはできません。

濁り・赤サビは除去できません。

井戸水・温泉水など異物を多く含む水にはご使用になれません。

カートリッジに黒い粉がついている場合があります。これは材の活性炭ですので、異常ではございません。ご使用前に水道水で洗い流してください。

本体容器の目盛りは目安です。

⑤

3-2. ご使用方法

①タンクに水道水を入れ、フタをします。
本体を安定した場所に置き、ろ過します。

②タンク内の水がろ過されたらご使用いただけます。

③浄水をすぐに使用しない場合は、冷蔵庫で保管してください。

④本体容器内の浄水を使い切ってから、タンクに水を入れてろ過してください。
※水道水を入れすぎるとあふれることがあります。

表示のろ過流量(約0.2L/min)は、カートリッジが十分に水になじんだ状態において、JISの試験方法に従って計測した結果です。
通常は1L(タンク1杯分)あたり約5分でろ過しますが、水質・水温・季節・地域などの使用状況により、ろ過の時間が長くなったり短くなったりする場合があります。

⑨

4. 製品仕様

材質: 本体容器・タンク/メタクリル樹脂
フラップ付フタ / ポリプロピレン
カートリッジ / ABS樹脂

寸法: 98×176×277h (mm)
重量: 約700g (満水時約1,800g)
※満水時とは、浄水容量の水を入れた状態です。

浄水容量: 約1.1L (タンク容量約0.9L)
ろ過材: 活性炭、イオン交換繊維
ろ過流量: 約0.2L/min
耐熱温度: 本体容器・タンク / 80℃
フラップ・フタ / 100℃
耐冷温度: 本体容器・タンク / -20℃
フラップ・フタ / -20℃
※表示は材質の耐熱・耐冷温度であり、製品としての耐熱・耐冷性を示すものではありません。

ろ材取換時期目安: 1日3L使用の場合約2ヶ月

5. 浄水能力 (JIS S3201 試験結果)

遊離残留塩素	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
総トリハロメタン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
溶解性鉛	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
2-MIB (カビ臭)	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
CAT (農薬)	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
テトラクロロエチレン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
トリクロロエチレン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
1,1,1-トリクロロエタン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
クロロホルム	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
プロモジクロロメタン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
ジプロモクロロメタン	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)
プロモホルム	: 総ろ過水量 200L (除去率 80%)

⑬

警告 浄水を正しくお使いいただくために

日本の水道水の水質基準に適合した水をご使用ください。
⇒体調を損なう恐れがあります。

注意 浄水を正しくお使いいただくために

浄水は消毒(殺菌)用の塩素が取り除かれた水ですので、雑菌が浄水や本体容器内部、注ぎ口等に付着・繁殖する場合もございます。下記の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

汚れた手やスポンジなどで触れないでください。
水道水以外のもの(麦茶、ジュース、牛乳、アルコールなど)をろ過したり、保存しないでください。
⇒浄水性能劣化や雑菌が繁殖する恐れがあります。

浄水は本体容器に入れたまま冷蔵庫に保管し、24時間以内にお使いください。

室温で長時間放置しないでください。

カートリッジは「3-5. カートリッジの交換時期について」に従って交換してください。

2日以上使わない場合、本体容器内の水をすべて捨てて、冷蔵庫で保管してください。2週間以内に使用を再開する場合は、「3-1. ご使用前の準備」に従ってご使用ください。

2週間以上使わなかった場合、古いカートリッジを捨てて「3-1. ご使用前の準備」に従って洗浄し、新しいカートリッジに交換してください。
⇒一度通水した後長時間放置すると、浄水性能劣化や雑菌が繁殖する恐れがあります。

②

2. 各部品の確認

ご使用いただく前に各部品が揃っているかご確認ください。万、不備や部品の破損がありました場合には、すぐにお買い上げ店もしくは良品計画お客様室へお申し付けください。

フラップ付フタ: 1個
カートリッジ: 1個
交換目安シール: 1枚

タンク: 1個
本体容器: 1個

各部のなまえ

⑥

3-3. 交換目安シールのご使用方法

①小シールを台紙からはがし、小シールの開始線の先端がカートリッジの使用開始時期になるように、大シールの目盛りの上に合わせて貼ります。

②大シールを台紙からはがし、浄水ポット表面の見やすい位置に貼ります。

③交換線が指す時期がきたら、新しいカートリッジに交換し、シールをはがしてください。

④別売りの交換カートリッジには、交換目安シールが同梱されていますので、①②の作業を行ってください。

数字は月を表示しています

⑩

6. こんなときには

こんなとき	確認しましょう	ごうしましょう
浄水が濁る	ご使用前の準備をしましたか?	「3-1. ご使用前の準備」に従ってご使用ください。
臭いが残る	カートリッジの交換時期が過ぎていませんか?	カートリッジを交換してください。
	カートリッジとタンクの接続部から水が漏れていませんか?	カートリッジをはめ直してください。
浄水のろ過時間が長い(※)	古いカートリッジではありませんか?	目詰まりしている可能性があります。新しいカートリッジに交換してください。
ろ過できない	カートリッジの空気穴が塞がっていませんか?	カートリッジを取り外し、軽く叩いてください。
浄水の臭い、味がおかしい	カートリッジが汚れていませんか?	水道水で洗い流してください。 ※洗剤は使用しないでください。
	本体容器・タンク・フタが汚れていませんか?	「3-7. お手入れ方法」に従って洗浄してください。

※ろ過流量0.2L/min(=1L/5min)は下限値を表記しております。この値よりも早くろ過される場合も浄水性能に問題ございませんので安心してお使いください。
※タンク内に黒い粉が混ざる場合がありますが、カートリッジの活性炭が出てきたもので、異常ではありません。

⑭

注意 ご使用方法、取扱いについて

35℃以上の温水をろ過しないでください。
⇒活性炭の機能が低下し、吸着した臭いなどが浄水に出てくる恐れがあります。

各部品を50℃以上の温水につけないでください。
⇒変形・変色・破損・浄水性能劣化の恐れがあります。

ご使用前およびカートリッジ交換時は、「3-1. ご使用前の準備」に必ず従ってください。
⇒浄水性能が発揮できません。

タンク内の水がすべてろ過されてからご使用ください。
⇒注ぐ時に浄水の中に原水が混じる恐れがあります。

氷を用いて冷水を作る場合は、タンクに氷を入れてください。
⇒本体容器に入れると氷が溶けて浄水の中に原水が混じます。

高温になる器具(ストーブや電子レンジ)や火気の近くで使用しないでください。
⇒変形・変色・破損する恐れがあります。

浄水を養魚用などに使用しないでください。
⇒残留塩素の除去が不十分なとき、魚が死ぬ恐れがあります。

濡れた手で持ち運びはしないでください。
⇒すべって落とす恐れがあります。

カートリッジの空気穴はふさがらないでください。
⇒ろ過時間が長くなります。

③

3. ご使用方法

3-1. ご使用前の準備

①本体容器・タンク・フタを洗浄します。
食器用中性洗剤をつけた清潔なスポンジをお使いください。その後、よくすすいでください。

②カートリッジを袋から取り出し白いフィルムをはがし、水の中で気泡が出なくなるまで軽く振ってください。
※カートリッジは下図のように逆さまにした方が気泡が出やすくなります。
※水に浸す容器は本体容器でなくても構いません。
※カートリッジは洗剤で洗わないでください。
※カートリッジに黒い粉がついている場合がありますが、これは材の活性炭ですので異常ではございません。
※カートリッジのパッキングが溝に入っているかを確認してください。

③カートリッジをタンク底面の穴に差し込み、カートリッジを取り付けたタンクを本体容器にセットします。
※カートリッジをタンクの奥までしっかりと押し込んでください。
タンク内の水が浄水に混じるおそれがあります。

⑦

3-4. カートリッジの交換方法

①ご使用済みのカートリッジの上部を持ち、上へ引っ張りタンクから外します。

②新しいカートリッジを袋から取り出し、「3-1. ご使用前の準備」の作業に従って取り付けます。

カートリッジ交換の際は、別売りの「アクリル浄水ポット・カートリッジ」をお使いください。

3-5. カートリッジの交換時期について

交換時期の目安は使用水量・水質・水温・季節・地域などの使用状況により異なります。
最適な性能をお使いいただくために、1日3L(タンク3杯分)使用した場合、2ヶ月が交換目安(約200L)です。

次の場合はカートリッジを交換してください。
・浄水に塩素(カルキ臭)が残るようになった。
・2週間以上使用しなかった。

ご使用済みのカートリッジや本体は、可燃性廃棄物(プラスチックゴミ)ですが、廃棄方法に関しては、お住まいの地域の条例ルールに従った方法で分別廃棄願います。

⑪

7. 交換用部品のご案内・お問い合わせ先

部品(カートリッジ含む)の保有期間は、本体の製造打ち切り後、最低5年です。

本商品についてご不明の点がございましたら、下記お客様室へお問い合わせください。

株式会社良品計画 www.muji.net
お客様室電話0120-14-6404
平日 10:00~21:00
土・日・祝 10:00~18:00
〒170-8424 東京都豊島区東池袋4-26-3

販売元
株式会社 良品計画
カートリッジ製造元
三菱レイヨン・クリンスイ株式会社

⑮

本製品は密閉容器ではありません。製品を倒した状態のご使用はおやめください。

凍結させないでください。
冷蔵庫(フリーザー)やチルド室など氷点下になる場所に入れないでください。
⇒破損・浄水性能劣化の恐れがあります。

高温になる場所(直射日光の強い場所や車中など)に放置・保管しないでください。
⇒変形・変色・破損・浄水性能劣化の恐れがあります。

食器乾燥機・食器洗い機での洗浄・乾燥はしないでください。
⇒変形・変色・破損・浄水性能劣化の恐れがあります。

本体容器・タンク・フタはこまめに洗浄してください。
⇒清潔に保つために清潔なスポンジと食器用中性洗剤で洗い、よくすすいで洗剤を落としてください。すすぎが不十分な場合、本体の劣化・水質悪化の原因になります。

クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、シンナー・ベンジン・アルコール・灯油などは使わないでください。
⇒キズ・変色の原因となります。

分解しないでください。
⇒分解すると商品を正常に使用できません。
小さな部品を乳幼児が誤飲する恐れがあります。

本器が破損した場合は、すぐに使用を中止し、破損部に手を触れないでください。
⇒けがをする恐れがあります。

④

④タンク上部の段差まで水道水を入れフタをしてください、タンク内の水道水が空になったら本体容器の浄水を捨てます。
※カートリッジとタンクの接続部から水が漏れる場合は、カートリッジをはめ直してください。

⑤④の作業をあと2回繰り返します。(計3回)

フタの着脱について

フタを取り付ける際は、フタ前後の凸部を本体容器にしっかりとはめ込んでください。
しっかりとハマっていない状態で使用すると、水を注ぐ際にフタ・タンクが外れ破損やけがをする恐れがあります。

フタを外す際は、背面側の凸部(下図A部)を上へ押し上げて外してください。

⑧

3-6. 保管方法

①2日以上使わない場合
本体容器内の水をすべて捨てて、カートリッジをつけたまま冷蔵庫で保管してください。
次回使用を再開する際は、「3-1. ご使用前の準備」に従ってご使用ください。

②2週間以上使わなかった場合
古いカートリッジを捨てて、「3-1. ご使用前の準備」に従って洗浄し、新しいカートリッジに交換してください。

3-7. お手入れ方法

衛生性を保つために、下記のお手入れ方法に従って本体容器・タンク・フタはこまめに洗浄してください。
少なくともカートリッジ交換時には洗浄してください。

- ・食器用中性洗剤を使い、清潔なスポンジで洗浄してください。
- ・クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、シンナーなどの薬品、タワシなど固いもののお手入れはしないでください。
- ・洗剤はよくすすいで落としてください。
- ・食器乾燥機・食器洗い機での洗浄・乾燥はしないでください。
- ・アルコール系除菌剤、酵素入りの粉末洗剤は使用しないでください。
- ・汚れがひどいときは、漂白剤を薄めたお湯(50℃以下)に浸してください。

⑫

④タンク上部の段差まで水道水を入れフタをしてください、タンク内の水道水が空になったら本体容器の浄水を捨てます。
※カートリッジとタンクの接続部から水が漏れる場合は、カートリッジをはめ直してください。

⑤④の作業をあと2回繰り返します。(計3回)

フタの着脱について

フタを取り付ける際は、フタ前後の凸部を本体容器にしっかりとハメ込んでください。
しっかりとハマっていない状態で使用すると、水を注ぐ際にフタ・タンクが外れ破損やけがをする恐れがあります。

フタを外す際は、背面側の凸部(下図A部)を上へ押し上げて外してください。

⑧